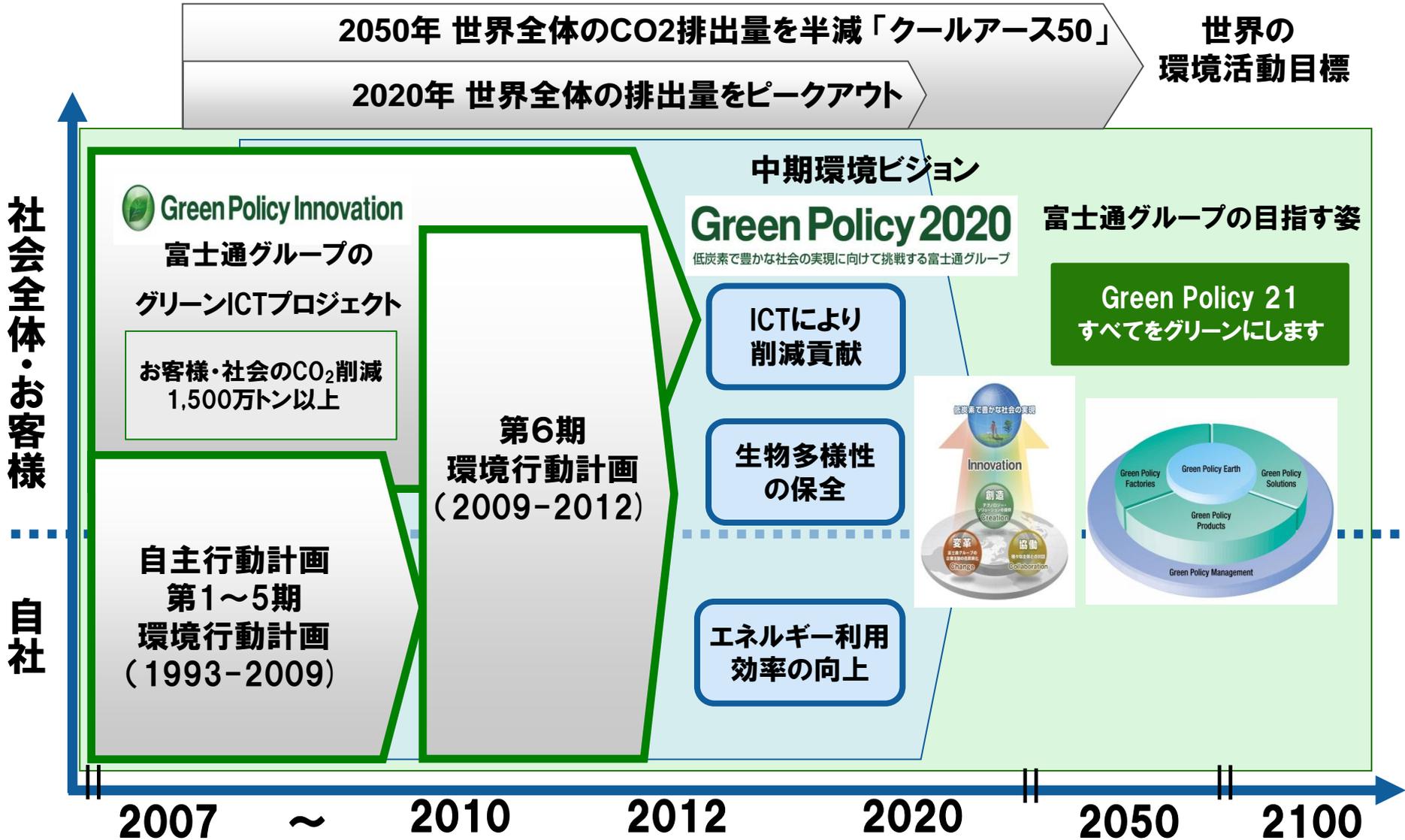


「富士通グループの環境への取り組み」 － ICTセクターとしての貢献 －

2010年6月17日
富士通株式会社
環境本部

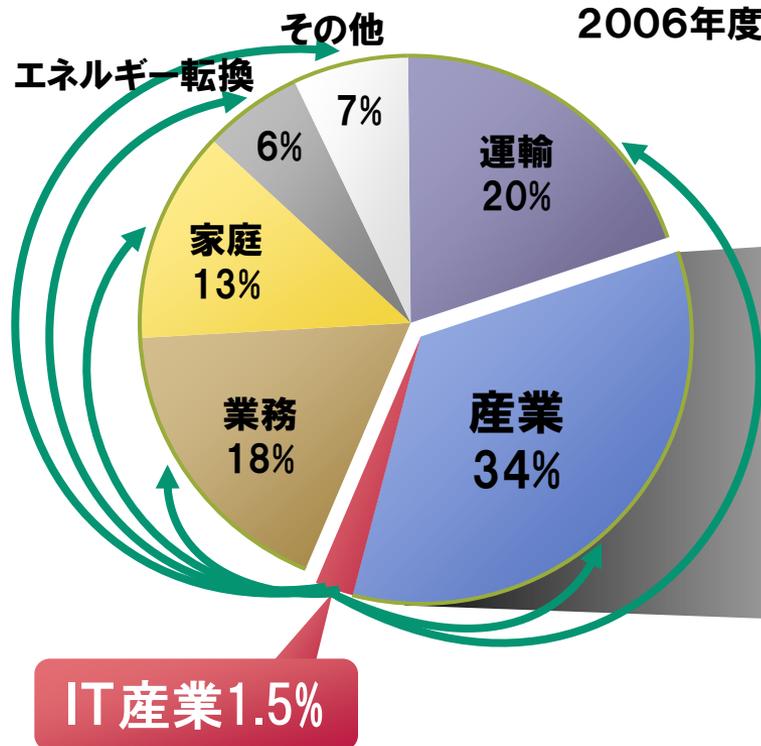
富士通グループの中長期ロードマップ



○社会に浸透しているITを活用することで、他の産業のエネルギーの利用効率の改善が可能。日本では残りの98%のエネルギーを使用している他の部門の省エネに対し貢献が期待。

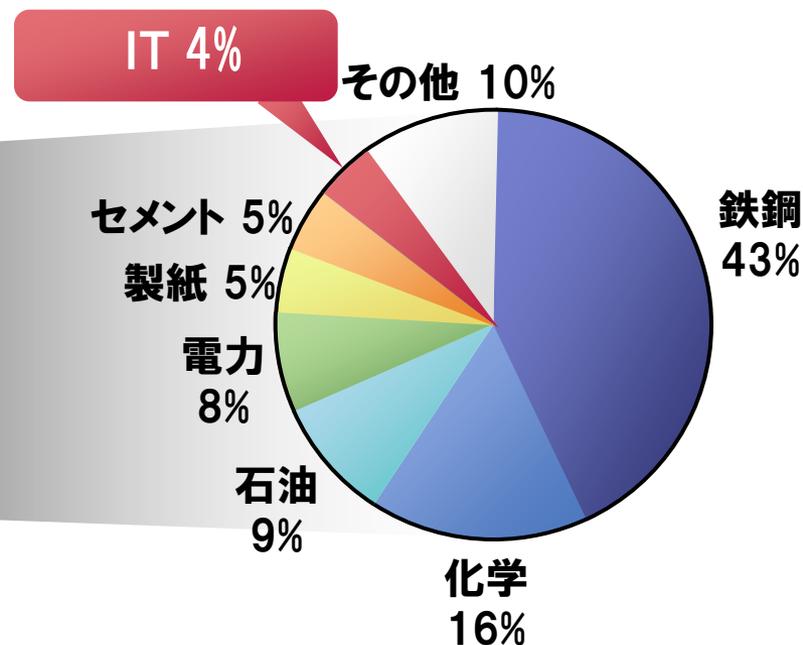
日本の部門別CO2排出量

2006年度



産業部門におけるCO2排出量

2006年度



出典：経済産業省 グリーンITについての資料より

1. ICT企業自身の環境負荷低減

企業の工場、事業活動の環境負荷低減 α

2. 社会全体の環境負荷低減



- ICT “の” 環境負荷低減 β
- ICT “で” 環境負荷低減 γ

製品・事業のライフサイクルの全体においてGHG削減を推進

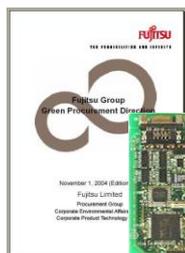
設計・開発

- 環境配慮設計の実施
- 植物性プラスチック
- 製品環境アセスメント



調達

- グリーン調達
- サプライヤ監査
- 化学物質の非含有



Pb
Cd
Cr6+

製造

- CO2削減
- 化学物質削減
- 廃棄物の削減



回収/再使用・再利用

- 使用済製品の回収
- 再使用・再利用の推進



使用

- 製品の省エネルギー
- 製品の拡張性



輸送・販売

- 輸送の効率化
- モーダルシフト
- 環境配慮型製品の提供



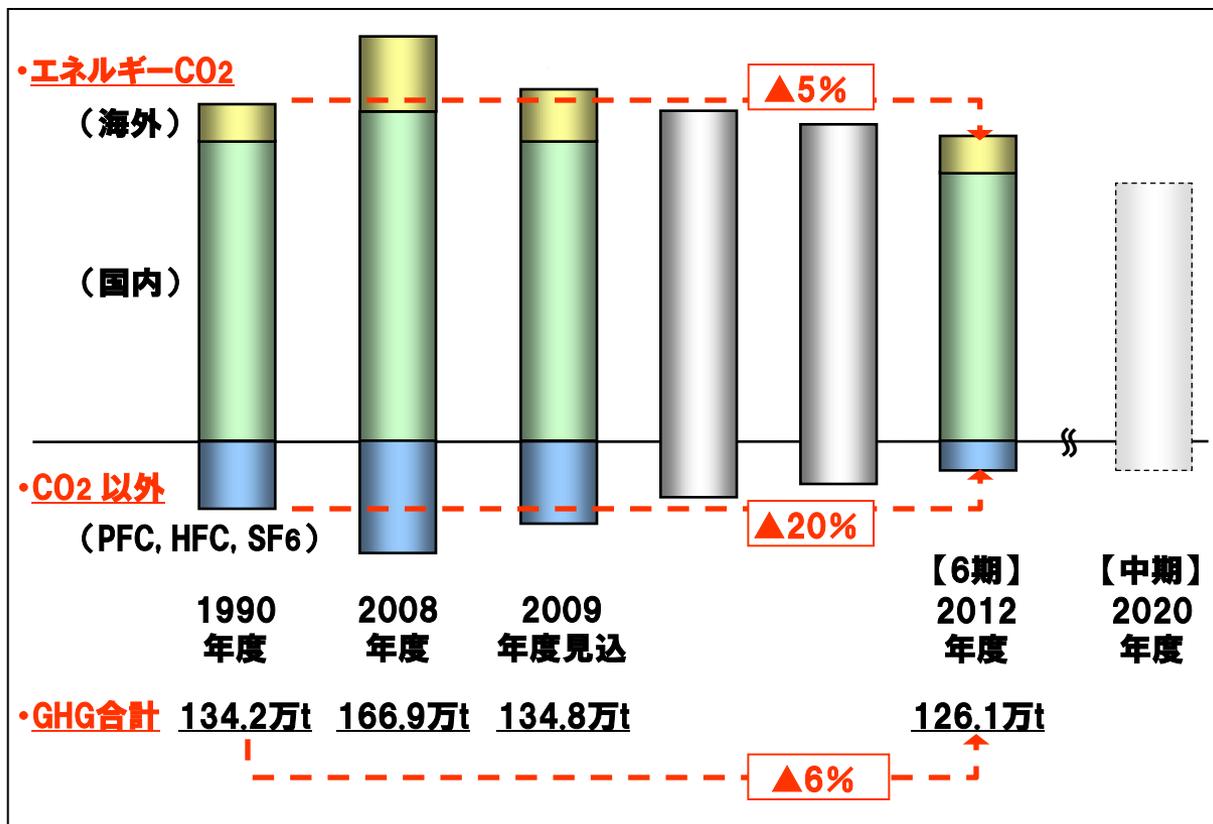
温室効果ガスの排出量の削減（富士通グループ）

第5期
実績

第6期
目標

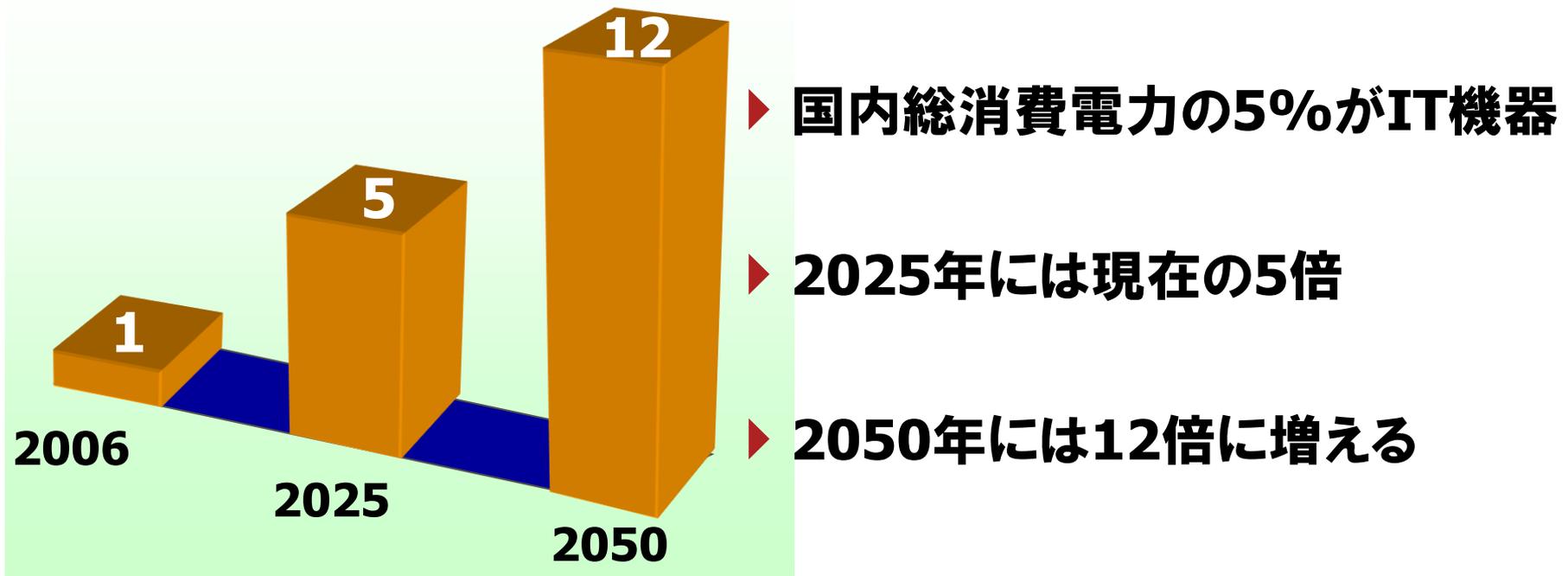
グローバル：売上高CO₂原単位を90年度比28%削減（10年度）
国内：エネルギー消費CO₂を90年度実績以下（10年度）

GHG排出量を2012年度末までに1990年度比6%削減



ICT機器自身“の”環境負荷低減 β

ITの総消費電力量の推計(国内)



[出典:経済産業省]

ICT機器自身の省エネへの取り組みが重要

ICT “で” 環境負荷低減 γ

ICTの本質：効率化、ペーパーレス、軽薄短小、メカレス



□ 2007年12月よりプロジェクト開始



お客様や社会の環境負荷をICTで低減
2009～2012年度 累計1500万トン以上CO₂削減



富士通のグリーンICT

ICT で
環境負荷低減

Green Policy Solutions(ソリューション)
ソフト/サービス
(アウトソーシング、コンサルティング)

ICT の
環境負荷低減

Green Policy Products(ITインフラ)
プラットフォーム、ネットワーク、ソフトウェア
ユビキタス、電子デバイス、半導体

社内実践による
環境ノウハウ

研究・開発、設計、製造、調達、物流、リサイクル

ICT自身の環境負荷低減とICT活用による環境負荷低減を推進

グローバル目標
2009～2012年度の4年間
累計 約1,500万トン以上

β

ICT **の** 環境負荷低減
累計 約300万トン

γ

ICT **で** 環境負荷低減
累計 約1,200万トン